

平成21年12月24日

川崎市長 阿部 孝夫 様

川崎市事業評価検討委員会
会長 輿水 肇

平成21年度第2回事業評価検討委員会の審議結果について

川崎市事業評価検討委員会設置要綱第2条第2項の規定に基づき、市の実施したまちづくり交付金対象事業の事後評価について、本委員会において審議を行いました。その結果を次のとおり意見を添えて具申します。

1 審議対象事業

- まちづくり交付金 鷺沼プール跡地周辺地区
- まちづくり交付金 新川崎地区
- まちづくり交付金 登戸向ヶ丘遊園駅周辺地区
- まちづくり交付金 小杉駅周辺地区

2 審議結果

市が実施した事後評価について、成果指標の達成状況や今後のまちづくり方策などについて審議した結果、評価内容は、概ね妥当と判断しました。

なお、別紙のとおり、各事業に対する付帯意見をまとめましたので、今後の事業の実施や評価にあたり、十分配慮することを望みます。

付帯意見

1 まちづくり交付金 鷺沼プール跡地周辺地区

鷺沼プール跡地周辺地区では、「多様な世代間交流による地域コミュニティの形成」や「良好な子育て環境の創出」を目標として、鷺沼ふれあい広場をはじめとした様々な施設が整備されたところである。今後は、こうした整備の目的を踏まえて、各施設を活用した地域住民の交流を支援する施策の充実や地域住民が主体となった活動を促進していくための仕掛けづくりに継続して取り組むとともに、将来的には地域住民が施設の管理・運営に参加することが望まれる。

2 まちづくり交付金 新川崎地区

新川崎地区では、まちづくり交付金による事業目標として、「創造、活力、ゆとり、安心の融合を特色とする都市拠点の形成」が掲げられている。こうした事業目標に則した成果を指標として明らかにすることで、事業目標の達成状況を市民に分かりやすく説明する工夫が望まれる。

3 まちづくり交付金 登戸向ヶ丘遊園駅周辺地区

登戸土地区画整理事業については、事業の進捗動向によって、当初予定していた事業効果が十分に発現されないこともあるため、速やかな事業完了が望まれる。

また、登戸向ヶ丘遊園駅周辺地区では、今後、生田緑地の施設整備や平成23年秋開業予定の藤子・F・不二雄ミュージアムの整備が予定されている。これらの整備事業との連携を十分に図りながら、地区全体として効果的に事業を推進することで、地域の回遊性を高め、地域の活性化を進めて、事業目標に掲げられている「いきいきとした出会いのあるまち」を実現していくことが望まれる。

4 まちづくり交付金 小杉駅周辺地区

小杉駅周辺地区において、市は、都市基盤整備などのハード的な施策だけでなく、新旧住民の交流支援などソフト面の施策の充実に取り組んでおり、また、緑、水辺といった憩いの空間を提供していくという視点からの等々力緑地や多摩川といった周辺環境整備も含め、広域的なまちづくりを推進しているところである。

今後も、個々の施策との連携を踏まえ、市民が安全・安心で快適なまちづくりを実感できるようにまちづくりを展開していくことが望まれる。

5 総括意見

まちづくり交付金対象事業の事後評価では、対象地区の周辺を含めた地域全体としてのまちづくりの構想を示した上で、個々の事業の成果を整理するとともに、計画に位置付けられた事業が、計画どおり、効率的に進捗したのかという観点から整理することにより、事業に対する理解を一層得ていく工夫が望まれる。

まちづくりを効果的、効率的に推進していくためには、地域住民や関係する地域団体はもちろんのこと、企業等の関係事業者について、まちづくりの一員としての認識を共有してもらい、積極的な参画を求めていくことが望まれる。

まちづくり交付金対象事業の推進にあたっては、個々の事業の連携を十分に図りながら、コストの妥当性の確保に努めて最小の経費で最大の効果を発揮していくことが望まれる。